

CASIO® P

5123 * JA

取扱説明書

保証書付

5123

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。お願ひ申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載してあります。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

※ 本書に記載の製品イラストの中には、視認性を考慮して、実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

■ 本機の特長

- ソーラーパワー
- ストップウォッチ
- ワールドタイム
- アラーム

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにならしてお使いください。

(充電時間については、10ページの「充電の目安」をご参照ください)

時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約5秒間押し続けます

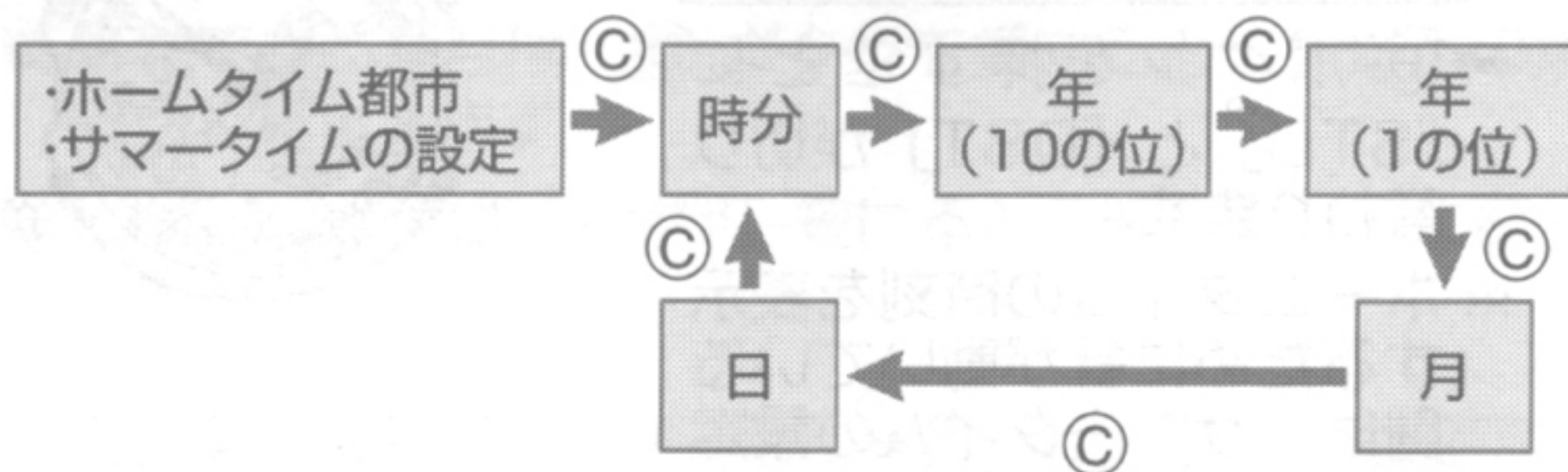
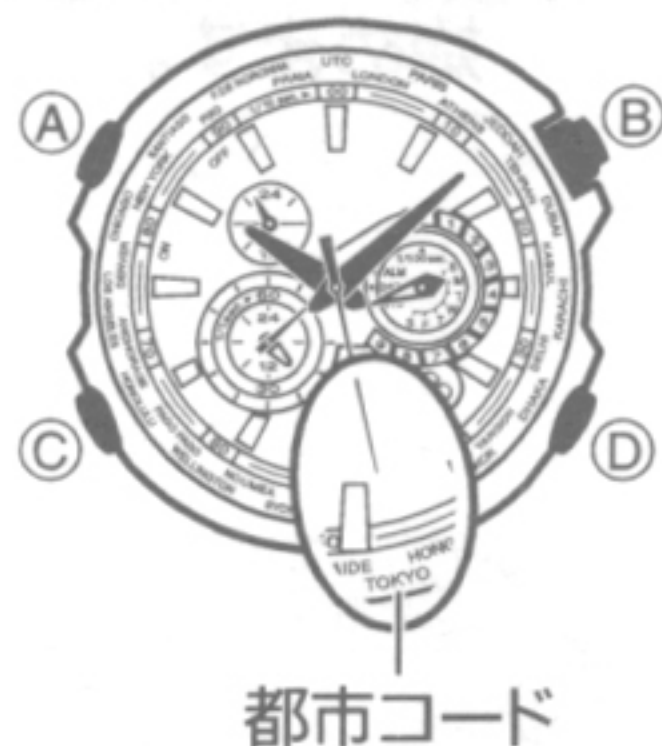
⇒秒針がホームタイム都市の都市コードの位置に移動します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

※ 修正できる項目は、Ⓒ ボタンを押すごとに、右記の順で切り替わります。

※ Ⓒ ボタンを約2秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。



ホームタイム都市、サマータイム設定をするには「ホームタイム都市、サマータイム設定のしかた」(20ページ)をご覧ください。

2. 「時刻」、「カレンダー」を修正する状態にする

Ⓒ ボタンを押します

⇒秒針と曜日針が12時位置に移動します(曜日針は真上を向きます)。



3. 時分を修正する

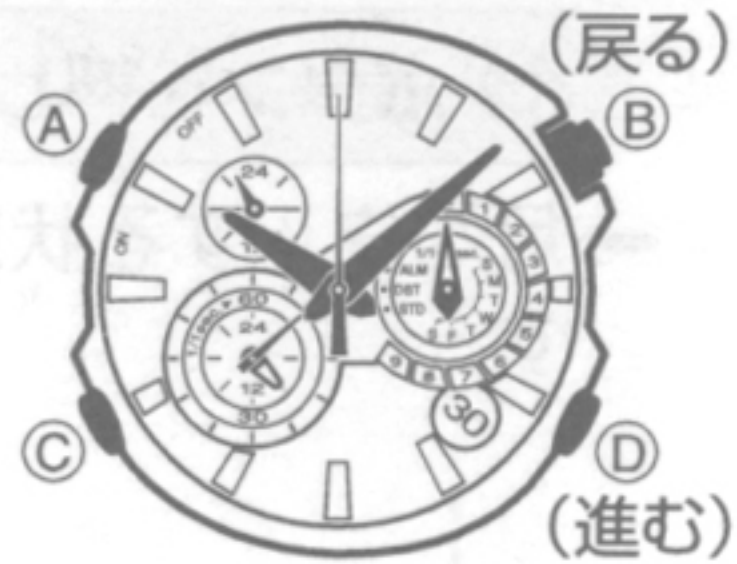
④ または ③ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに1分ずつ進み、③ ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※ ④・③ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。

※ 時針は分針に連動して動きます。

※ 24時間表示の小針で午前と午後を区別してください。



4. 「年(10の位)修正」にする

③ ボタンを押します

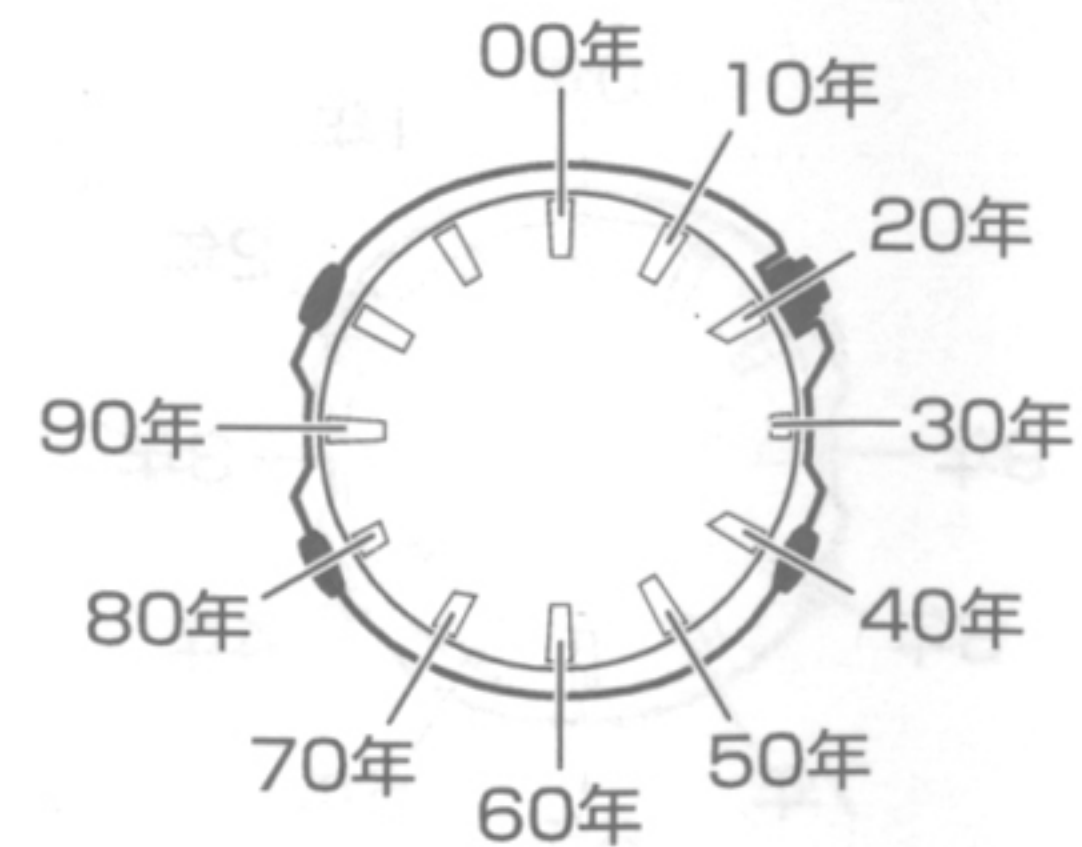
⇒ 年の10の位を修正する状態になります。

5. 年の10の位を修正する

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、「10の位」が1つずつ進みます。

「年(10の位)」を表わす位置に移動



6. 「年（1の位）修正」にする

③ ボタンを押します

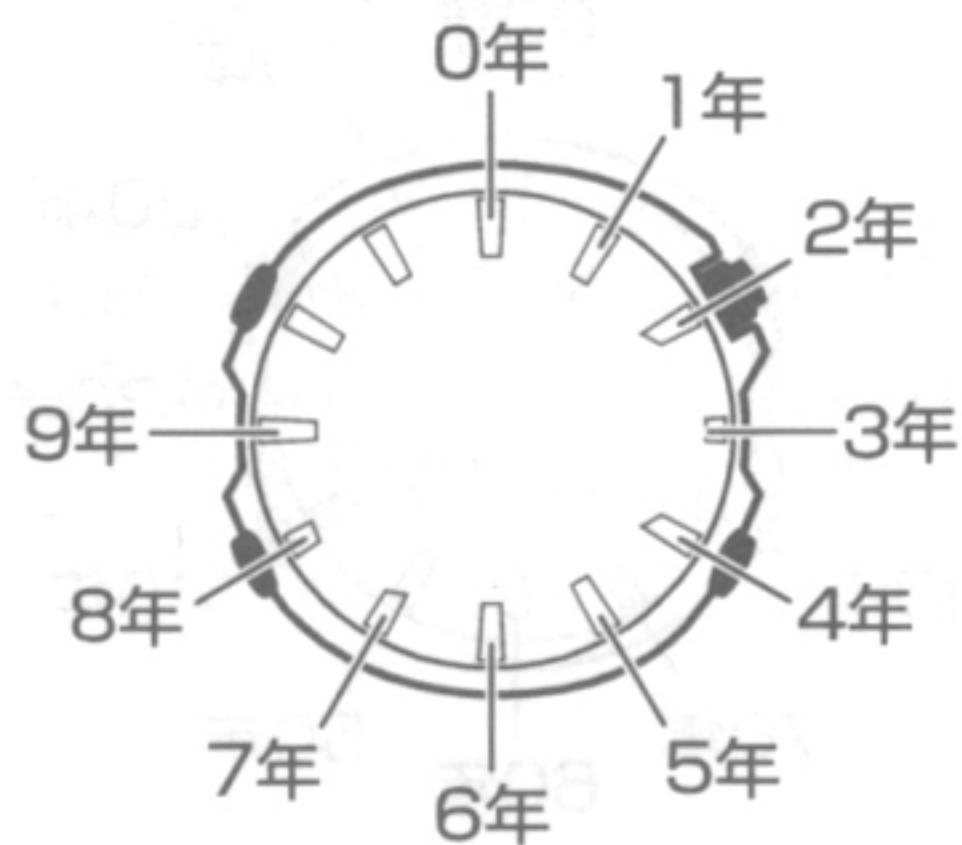
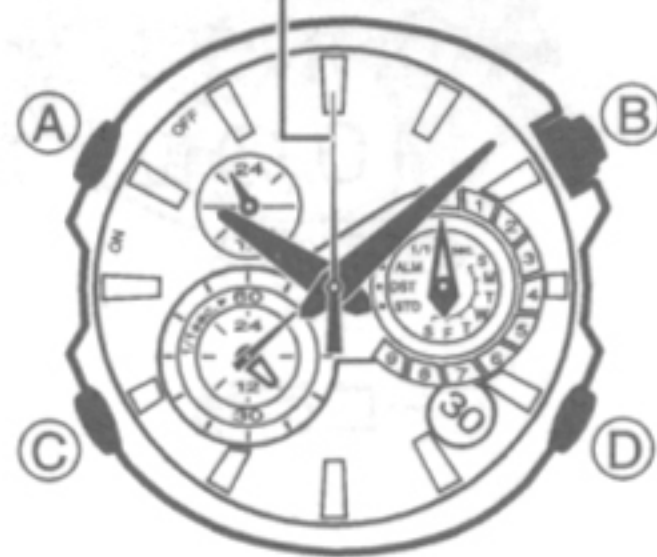
⇒年の1の位を修正する状態になります。

7. 年の1の位を修正する

④ ボタンを押します

⇒④ ボタンを押すごとに、「1の位」が1つずつ進みます。

「年(1の位)」を
表わす位置に移動



8. 「月修正」にする

③ ボタンを押します

⇒月を修正する状態になります。

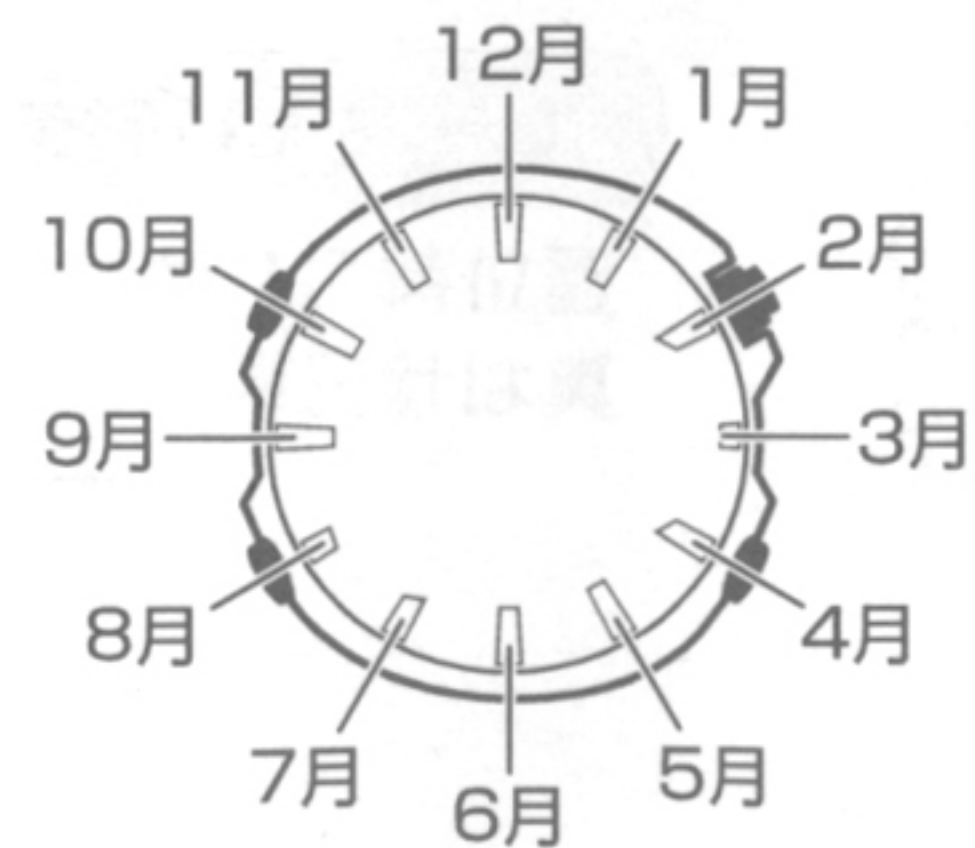


「月」を表わす位置に
移動

9. 月を修正する

④ ボタンを押します

⇒④ ボタンを押すごとに、1月ずつ進みます。



10. 「日付修正」にする

③ ボタンを押します

⇒ 日付を修正する状態になります。



11. 日付を修正する

④ または ③ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、③ ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



12. セットを終了する

① ボタンを押します

⇒ セット状態が解除され、時分針と日付が設定した値を指します。

※ 曜日は自動的に算出されます。

※ 秒針は自動的に0秒に戻ってから運針を再開します。

※ 「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

